

実務で5年かかって身に付ける Excel VBA を1日で。

## 『Excel VBA ラボ』公式パンフレット

### 『Excel VBA』とは何か？

Excel をプログラミング言語によって操作することで、ボタン 1 発の複雑な処理が可能に。

マクロ記録と実行のトレーニング

以下では、マクロ記録の一連の作業の流れと、コードの走り方、「F8実行」、「F5実行」、「Alt+R、Enter実行」を学ぶ。

設問1 マクロ記録を Alt+L→R で始めて、下記の作業をこのシートで行い、最後にマクロ記録を終了しなさい。なお、マクロ記録の途中で適宜、「r」でコメントをつけること。

作業メモ\ (まずはA2にカーソルをのいた状態でマクロ記)

A3に 1234 を代入。  
A4のセルの内部を黄色に塗りつぶし。  
A3の文字色を赤色に。  
A5に aiu と代入。  
A3をコピーして、B5にペースト。

「Excel VBA」とは、「マクロ」とも呼ばれるもので、上記画面右のような Editor においてプログラミングコードを記述し、Excel のボタン 1 発での自動処理を可能にするプログラミング言語です。「行の挿入」「シートのコピー」「セルの装飾」「多数のシートの削除」「Excel ブックの複製」などは通常の Excel 関数ではできませんよね。Excel VBA なら、関数では達成できないほとんどの Excel の定形処理を自動的に行うことができるのです。



# 『Excel VBA ラボ』コンセプト

## 新しい Excel VBA 教育メソッドの確立

マクロ記録の最大活用

オブジェクト、メソッド、プロパティの徹底理解

インテリセンスとポップヒントの活用

オブジェクト・メンバーアプローチ

ショートカット・トレーニング

講座内反復トレーニング

返しの明確化・文型判定

●『Excel VBA ラボ』は、Excel を実務で利用している人で、初めてプログラミングや VBA（マクロ）を学ぶ人に向けて設計された講座。『VBA ラボ 1（超入門編）』→『VBA ラボ 2（入門編）』→『VBA ラボ 3』・・・と続く連続構成となっているため、必ず『VBA ラボ 1（超入門編）』からご参加ください。Excel VBA は基本としておさえるべきノウハウや知識が多いため、プログラマーでない方は、徐々にステップアップしながらプログラミング的なノウハウに慣れつつ堅実に学習していく必要があります。

●現代 VBA 教育で比較的軽視されてしまっている「マクロ記録」を全編を通して使っていくことで、マクロ作成時の「つまづき」を低減すると共に、VBA 記述の厳密な仕組み・文法・修正のコツを学び、幅広い機能を備えたマクロを作成できるための基礎能力を養う。

●特に VBA ラボ 1・2 においては、巷の一般的な Excel VBA 講座のカリキュラムより、プログラミング要素を抑制し、**基礎的な部分の操作トレーニング・記述原理の理解・暗記を徹底して行う構成**としている。日本の VBA 講座でも最も「厳密かつ緻密」に順番を追って解説されるならかなステップ設計にしているため、時間をかけて徹底的に 1 つ 1 つ固めながらカリキュラムが進行する。

●VBA の基本ショートカットや、マクロ記録からの VBA 修正をとにかく反復する。

●VBA 文法・記述の根幹となる概念を重視。「**オブジェクト、プロパティ、メソッド、インテリセンス、自動ヒント、返し、文型**」を正確に理解していくことでコード記述の成否を明確に解説する。

●Excel/VBA についての前提としては、「0 から」解説であり、VBA ラボ 1 は「超入門」の位置づけとなるが、Excel 自体の前提知識としては、Excel 応用のレベルまで既習（習得済）であることを前提とする。（セルの書式設定や Excel のショートカットはかなり理解しており、既に慣れていることを前提として進めていく。）

●VBA の基礎文法に関しては、非常に概念的に硬質な説明を行うため、**論理的なものへの理解力は必要**である。

●プログラミング要素の強い単元（変数、ループ、条件分岐）は、VBA ラボ 1（超入門編）・VBA ラボ 2（入門編）では扱わない。



## 講座の概要・対象イメージ

### 対象イメージ・対象レベル

Excel VBA ラボは、Excel の基本原理や挙動を正確に理解し、ショートカットなどがかなり身につけていることを前提として、Excel を使って VBA（プログラミング）をゼロから学習します。Excel ラボの『応用編』や『パーフェクトオペレーション編（機能編）』で習うような様々な機能やショートカットに習熟していることを前提としています。



## 「Excel VBA ラボ」よくある質問



**質問** Excel VBA を全く触ったことが無いのですが大丈夫ですか？



A. ゼロから講義していくので、VBA の素養は無くとも大丈夫です。ただし VBA (マクロ) は、正確な操作ができていることが Excel 以上に重要です。Excel 講座よりも上級の講座ですから、タイピングが遅かったり、ショートカットを普段あまり使われていない方は付いてくるのが難しいかなと思います。VBA は相当な数のショートカットが登場し、それらを適切に使いこなしていくことが必要不可欠です。Excel 講座で登場するようなショートカットも多数使用していきますので、ショートカットへの抵抗が少ない必要があります。



**質問** Excelの実務経験がないのですが、Excel ラボの講座はいくつか受講しました。VBA ラボ 1(超入門編)に参加して、大丈夫ですか？



A. 実務経験がなくとも、Excel のショートカットを多く使いこなせており、コピーやフィルター、並べ替えなど『Excel ラボ (パーフェクト・オペレーション編)』で多く扱っている Excel の挙動と操作に慣れているならば大丈夫です。逆に、ショートカットをほとんど覚えていない場合は、難しいでしょう。また、厳密な英文法講座のような論理的な難しさがあるので、そういった論理性への興味や意欲が一番必要です。



**質問** 『マクロができると良いよ。』と先輩に言われたのですが、マクロと VBA は同じですか？違いますか？



A. マクロと VBA は、ほぼ同じです。

- ・「マクロ」とは、ボタンをポンで一括実行できるような機能のこと。
- ・「VBA」とは、それを実現するためのプログラムのコードの言語・文法体系のこと。

つまり、「VBA という言語を記述して、マクロを作る (=ボタンポンを達成する)」わけですから、VBA というプログラミング言語ができなければマクロは作れないし、マクロを作るには VBA コードを修正できないといけません。『マクロができると良いよ』と言われたことがある環境で、仕事でマクロを使いたい方は VBA ラボ 1. 超入門編から参加することで、身につけていくことができます。



**質問** Excel VBA (マクロ) は、実務で役立つものですか？



A. 実務で役立ちます。「躊躇せず」、「つまづかず」、「自然と」、VBA を使えるようになるならば、Excel 実務の高度な自動化を達成できます。今まで Excel の関数や機能だけではできなかったことが、必ずできます。ただ VBA は、学習領域が広くノウハウ性が非常に強いものなので、相当な基礎トレーニングをしないと身につかずに終わってしまいます。Excel VBA は、プログラミング言語の中では最も実務に直結しており、Excel があれば明日から会社で使えるものです。意欲ある人は、ぜひプログラミング学習のスタート地点に立ちましょ。いずれ到来するかもしれない「総プログラマー社会」。そういう時代の流れに相對しても、強固なプログラミング能力を養っていれば、自信を持ち清々しい気持ちで前に進むことができます。この講座はそういう新しい時代への『入門』講座です。



## 講座カリキュラム 「VBA ラボ 1 (超入門編)」

### Excel VBAラボ1 講座カリキュラム (全8h)

#### マクロ記録と VBA のショートカット 編

- ・マクロ記録と VBA 基礎文法理解
- ・基本設定と VBE の操作
- ・Excel と VBA のショートカット
- ・ショートカットによるマクロ実行

#### VBA 基礎文法 編

- ・プロシージャ名のルール
- ・コードに書ける単語
- ・オブジェクト・メンバーアプローチ
- ・インテリセンスによる入力補完
- ・黄色モードとリセット
- ・代入演算子
- ・2 種類のプロパティとポップヒント
- ・マクロ記録と色
- ・With ~ EndWith は反復の省略構文
- ・不要なコードを消す
- ・メソッドと引数
- ・「文」とは何か
- ・VBA の文型判定



## 「VBA ラボ 1 (超入門編)」 到達レベルイメージ



**質問** 超入門編では、マクロでどのぐらいのことができるようになりますか？



VBA ラボ 1 (超入門編) は「基礎文法の徹底理解」と「操作トレーニング」に終始しますので、到達レベル的には、英語学習で喩えると「平叙文や疑問文が文法的に完璧に書ける状態」「品詞や SVOC が識別でき、理解できる状態」になります。

VBA で具体的に言うと、

- ・セルの指定の仕方やその正しい文法理解 ・オブジェクト・プロパティ・メソッドについての基本理解
- ・マクロ記録の修正方法 ・セルのコピペ

などはできるようになりますが、それ以上の内容は「超入門編」では扱わず、続編の VBA ラボ 2. 「入門編」で解説していくこととなります。逆に言えば、英語学習で、「品詞や SVOC が見えていないのにさらに上の文法事項を慌てて勉強」しても身につけるのは難しいように、**Excel VBA では基本記述・基本文法の正確な理解と習熟**に最初は時間をかけなければ、その後の上達に繋がらなくなるのです。



## 講座カリキュラム「VBA ラボ 2 (入門編)」

### Excel VBAラボ 2 講座カリキュラム (全 8 h)

マクロ記録とシート間処理、Excel 機能の活用

#### 第 1 章：入門文法・記法・作業フローの徹底解説

VBA 基礎文法の確認  
返しの型の分類  
インテリセンスと Information  
マクロ記録と行・列の参照  
文型の判定  
記録 Module と自己記述 Module  
Call ステートメントのトレーニング

#### 第 2 章：ワークシートの処理・シート間処理

全体指定と単体指定  
ワークシート参照  
Worksheet オブジェクトのメンバー  
シート名とコードネーム  
アクティブ省略  
アクティブ遷移  
シート間コピー  
Range.Copy と Worksheet.Copy

#### 第 3 章：Excel 機能の活用とマクロ記録

Now の活用方法  
マクロ記録とフィルター処理  
フィルターとシート間コピー  
Range.CurrentRegion プロパティ  
ピボットテーブルと元データの更新  
マクロ記録とピボットテーブル作成

ご予約お早めに

直近の講義日程は  
コチラ！

ラボ講義日程



## 「VBA ラボ 2 (入門編)」到達レベルイメージ



**質問** VBA ラボ 2 (入門編) では、マクロでどのぐらいのことができるようになりますか？



「VBA ラボ 2 (入門編)」の到達目標としては、ラボ 1 に引き続きマクロ記録を活用することで、「シート間処理」のマスターがメインになります。また、Excel の機能を使ったよくある処理をボタン一発でできるマクロを作ることを目標としていきます。個人的には、文法解説に終始する「ラボ 1 (超入門編)」と比べて、「ラボ 2 (入門編)」は少しレベルが上がるだけで一気に視界が開け、様々な便利な機能をマクロで作れそうだなあ！」と感じていただけるのではと思います。具体的には、

- ・フィルターを掛けて、別シートにデータをコピーするマクロ
- ・ボタン一発でピボットテーブルを作る、ボタン一発でピボットテーブルを更新する

などができるようになります。いずれにせよ、VBA ラボ 2 の講義時間の中では、「オブジェクト・メソッド・プロパティなどの概念理解」「操作トレーニング」「単語の暗記」「マクロ記録のコード修正」など、引き続き徹底的にトレーニングしていくことで、「VBA 力」の醸成・定着を図ります。



## 連載『Excel ラボ』 開発インタビュー 4

# 『Excel VBA ラボ』 プログラミング教育メソッドの確立



今はプログラミングと関係の無い人でも、いずれプログラミングを学習しなければならない日が必ず来ます。けれど、「プログラミング」を学習し始めた人のうち、身につかずに終わる人が大半なのではと思います。プログラミング教育は、まだまだ黎明期であり適切な学習方法が行き渡っていないため、誤った学習方法では、「わかった気はするが、結局モノにならない。」ということが起こるのです。私はこの講座で、「新しい時代のプログラミング学習メソッドを確立しよう」と思いました。

### 『新しい時代のプログラミング学習メソッドの確立』 基礎理解・暗記・操作練習の徹底。

「Excel VBA (バイ・ビー・イー)」は、プログラミングであり、Excel よりも身につけるのが難しいです。

目の前の「セル1個」に集中して関数を作っていく Excel とは違い、VBA は、「複数の画面を同時に注意しながら扱い、コーディング自体の文法正誤を判断しながら、プログラムの論理に気をつける」など『多面的配慮』を同時に行うことが必要だからです。

多くの人は Excel VBA の学習で、まず「プログラミング的に登ろう」とします。つまり、「変数」「ループ」「条件分岐」などのいかにもプログラミングっぽいことを学習することを以って「学習の前進である」と判断しますが、すぐ躓きます。

目の前の「プログラム論理の理解」は、VBA 学習では、気をつける要素のうちの1つに過ぎないからです。VBA では、気をつける要素は「1つ」でなく「無数」にあります。それらに同時的に配慮する力が正しい『プログラミング能力』です。

だから、いきなり「プログラミングっぽい」ことから学習し始めた方々は、プログラミングの勉強をしながらも「全体的にはわかっていない」という違和感を払拭できず、プログラミングのあるべき勉強方法をずっと探し続けることになるわけです。「もっと、良い VBA の学習方法がどこかにあるのではないか?」「何かプログラミングの基礎が抜けていることはわかるが、どういう基礎が足りないかがわからない。」「自分もバカじゃないから、本に書いてあることはまあまあ理解できるけど、完全には論理が繋がっていないぞ。何か「つなぎ」が足りない。」と。

私の感覚では、VBA 学習に取り組む大抵の人は「プログラマーという職種ではない」はずですが。だから、学習にあたっては「プログラミング的に慌てて登る」前に、まずは基礎的な要素に絞って、1つずつ徹底的に理解、暗記、そして操作の反復練習をしておいたほうが近道だと思います。

きちんとした基礎練習を飛ばして、プログラミング論理(変数・ループ・条件分岐など)にいきなり入り込み登っていくと言うのは、スポーツで言えば、フォーム(型)が身につけていないのに、やみくもにボールを蹴ったり、投げたりしてゲーム(試合)ばかりやってるようなものです。何もやらないよりは悪くはないけれど、その後の上達を考えると、最初のうちに、焦らずに、きっちりフォームを身につけた方が結局近道です。

とにかく、VBA の「基本理解・基本暗記」、操作の「基本フォーム」を固めてから前に進みましょう。

近い将来に「国民みんながプログラマー的にならないとヤバイよね。」などと SNS で眩く人が激増するのかなと思いますが、同時に、「では、やるか?」と言ってプログラミング学習を始め、跳ね返されてしまう人も激増すると思います。

たしかに「プログラマー」という人達は「プログラムの論理」にも詳しいのですが、本当は「その周りの基本動作やコード修正時のノウハウ」がかなり広く身につけているものなのです。

それなのに、「プログラミング学習」を始める一般の人が「基本動作やノウハウ」を身につけずに、「正しいプログラム論理・正しいコード記述」だけを勉強してしまうと、ノウハウが無いので、うまく動くコードにできずに躓いてしまうのです。

この講座は、日本で一番「入門的なことだけを長い時間を掛けて教える Excel VBA 講座」だと思います。変数も、ループも、条件分岐も出てきません。だから、既に VBA の中級者・上級者である人は全く参加するべきではありません。

ただし、同時に日本で一番「入門的な部分の理解の難しさや操作トレーニングの重要性を伝える Excel VBA 講座」だと思っています。

VBA の本当の入門的な内容だけにフォーカスして訓練する中でさえ、マクロ (VBA) を「自然に」「躊躇なく」「一瞬も止まらずに」作れる為には、相当広い基本知識の整理・暗記・習得と、基本操作のトレーニングが必要だとご痛感いただけると思いますし、VBA 文法の正確な理解は、緻密で難しいこともお分かりいただけると思います。だから、VBA ラボ 1『超入門編』からの学習ですが、かんたんなわけでは全くありません。この講座は操作的にも論理的にも硬質で、私の講座では、最も難易度の高い講座だと思います。だから、受講者の方は VBA 初心者で全く構いませんが、「Excel 自体のショートカットを日頃から十分使いこなしていること」と「これから VBA を、プログラミングを習得できるように頑張るぞ」という本気は必要だと思います。(Excel 自体をきちんと習ったことが無い方は、焦らず『Excel ラボ (基礎編)』から学習いただくと飛躍的に完全な Excel 力を構築できますので焦らずイチから理解を深めましょう。)

カリキュラム的には、もちろん VBA を 0 から学んでいくものです。

Excel を日頃から使いこなしている方であれば、

「マクロって何？ VBA って何？ Excel なら結構毎日使ってるけどなあ。」

という「VBA に関しては全くの初心者」状態の方が来ていただいて大丈夫です。

丸一日掛けて、VBA・マクロのイメージを固め「戸惑い」「躊躇」「不安」を払拭し、「慣れ」「自信」を身につけられるようとにかく徹底トレーニングしましょう。本質的な理解を得ることができれば、その後の VBA 学習が飛躍的にスムーズに進むようになります。

## 「Excel VBA (マクロ) は、実務で役立つか？」

---

Excel VBA は、「自動化をしよう」「業務効率化をしよう」という会社であれば、実務で必ず役立ちます。「躊躇せず」「つまづかず」「自然と」VBA を使えるようになるならば、Excel 実務の高度な自動化を達成できます。

今まで Excel の関数や機能だけではできなかったことが、必ずできるようになるものです。

ただ VBA は、学習領域が広くノウハウ性が非常に強いものなので、相当な基礎トレーニングをしないと身につかずに終わってしまいます。基礎を飛ばした人は必ず「以前、少し VBA をかじったけど、その時はできた気がしたんだけど、結局身につかなかったんだよね。」と語ることになります。ほんとうはその人は基礎的な部分にフォーカスして、もっともっと徹底的にトレーニングをしなければならなかったのです。

VBA は、プログラミング言語の中では最も実務に直結しています。Excel があれば会社で実際にプログラミングを動かせるわけで、ほとんどの会社ですぐに使えるプログラミング言語です。だから、一度きちんと「全体をモノにすれば」あとは、実力が定着し、業務効率化に貢献できます。

絶対に役に立つものだから、意欲ある人は、今こそプログラミング学習のスタート地点に立ちましょう。

いずれ到来するかもしれない「総プログラマー社会」。

そういう時代の流れに相對しても、強固なプログラミング能力を養ってれば、自信を持って、清々しい気持ちで前に進むことができるはずで、この講座はそういう新しい時代への『入門』講座です。